

没後50年記念シンポジウム



日本のジャーナリズムに 未来はあるか

— 米国と中国のはざままで

石橋湛山が亡くなって 50 年が経過した今日、
現代のジャーナリストは、何を基準にし、誰に
向けて、どう発信しようとしているのだろうか。

2023年 **6.17** SAT
早稲田大学大隈記念講堂

主催：一般財団法人石橋湛山記念財団・早稲田大学文化推進部
後援：株式会社東洋経済新報社

【登壇者】

モデレーター 星 浩(TBS スペシャルコメンテーター)

パネリスト 杉山 晋輔(元外務事務次官)

新谷 学(『文藝春秋』編集長)

五十嵐 文(『中央公論』編集長)

植木(川勝) 千可子(早稲田大学アジア太平洋研究科教授)

【プログラム】

開場 12:30

開会の挨拶

13:30 - 13:35 石橋 省三(石橋湛山記念財団理事長)

13:35 - 13:40 田中 愛治(早稲田大学総長)

シンポジウム

13:40 - 13:50 星 浩 導入 / 開催趣旨の説明

13:50 - 15:10 国際情勢とジャーナリズムー私の仕事の現場からー

15:10 - 15:25 休憩

15:25 - 16:35 国際社会のなかでの日本ー湛山を介して考えるー

16:35 - 16:45 休憩

16:45 - 17:05 会場との質疑応答

閉会の挨拶

17:05 - 17:10 須賀 晃一(早稲田大学副総長)

【申し込み方法】

「早稲田文化」のWeb サイトから、または右のQRコード
から事前予約をお願いいたします。お申し込みは先着順です。



・東京メトロ東西線ー早稲田駅 2・3A・3B 出口から徒歩5分

・JR山手線・西武新宿線ー高田馬場駅(早稲田口) から都営バス「早大正門」行 終点下車徒歩1分

・都電荒川線ー早稲田駅から徒歩5分

【お問い合わせ】 早稲田大学文化推進部 art-culture@list.waseda.jp

石橋湛山



2023年12月刊行予定 早稲田大学出版部

「石橋湛山と早稲田大学ー没後五〇年に考える (仮)」

編著者：石橋省三・星浩 編

写真：国立国会図書館「近代日本人の肖像」